

## アイヌアートモニュメントについて

### 1 設置目的（案）

アイヌ民族の文化にふれることによって、文化の意味とこれからも共生していくというメッセージを、市民（後世の世代を含む。）や来訪者に広く長く伝える。

なお、この取組は、イランカラプテキャンペーン※1 を促進するとともに、創造都市さっぽろ※2 や札幌国際芸術祭※3 と連動していく。

※1 アイヌ語の挨拶「イランカラプテ」を普及させ、北海道のおもてなしのキーワードとする取組

※2 と※3 札幌市では、文化芸術が市民に親しまれ、心豊かな暮らしを支えるとともに、

札幌の歴史・文化、自然環境、IT、デザインなど様々な資源を生かした次代の新たな産業やライフスタイルを創出することを目指す（＝創造都市さっぽろ）。

札幌の魅力を世界へ強く発信していくために、創造都市さっぽろの象徴的事業として、平成 26 年度に札幌国際芸術祭を開催。



### 2 作品の基本的な考え（案）

#### (1) テーマ

テーマを「自然」とし、アイヌ文様を施した作品を見たり、制作する中で、アイヌ文化の技術力や美しさ、自然との共生を伝えていく。

#### 【理由】

i) アイヌ文化は、北の自然との共生の中から生まれた独自の文化。

ii) 「創造都市さっぽろ」の象徴的な事業である札幌国際芸術祭は、「都市と自然」（札幌が有する「都市」の魅力と「自然」の豊かさ）を基本方針としている。

#### (2) 表現方法・素材

アイヌ文様を「布」や平面的な素材で表す。

#### (3) 設置期間

平成26年度から複数年とする。26年度は札幌国際芸術祭の開催期間に合わせた設置を目指す。

#### (4) 設置場所

平成26年度は市役所本庁舎など、市内中心部での設置を目指す。27年度以降は、施設管理者と協議の上、中心部以外の施設での設置を目指す。

#### (5) 制作手法

アイヌ民族の作家による制作を基本とするとともに、市民参加の手法も取り入れる。また、作品の設置に当たっては、アイヌ文化やアートに精通した有識者から意見を聞く。

### 3 その他

作品の設置後もアイヌ文化の紹介などにより、作品の魅力を維持するとともに、アイヌ文化の理解促進が図られるよう努める。